

市民しんぶん南区版

南区総人口：101,423人

世帯数：51,795世帯

令和4年12月1日現在(推計人口)

[ホームページ](#) [京都市南区役所](#) [検索](#)

2023
1
(毎月15日発行)

みなみ

迎春



南区広報キャラクター「ナンミン」



塔南高校 華道部部长 門田 菜葵咲 さん 作

今回の作品は、明るく楽しい一年が迎えられることを願い、生けました。白八重リリーで明るさを、赤カーネーションや黄小菊で楽しさを表現しました。また、後ろに枝老松を置くことで、より一層、お正月らしさを演出しました。



門田 菜葵咲 さん

塔南高校華道部では、未生流の先生に講師としてお越しいただき、週一回活動を行っています。

日々のお稽古では基本型を中心に教えていただいております。自分たちの選んだお花で生ける、文化祭の「花展」を目標に、お稽古に励んでいます。また、卒業時には未生流の許状を取得することができます。



「京都の六斎念仏」 ユネスコ無形文化遺産に登録!

京都市内では15地域(保存会14団体)、うち南区では、上鳥羽・吉祥院・久世の3地域で伝承される「京都の六斎念仏」が、日本各地に伝わる民俗芸能「風流踊」の一つとして、この度、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

「六斎念仏」は、仏教の「六斎日」に念仏を唱えるという習俗や、平安時代に空也上人が鉦を叩きながら念仏を唱えて歩いたという伝承が由来と言われています。京都では、念仏や和讃を中心とした「念仏六斎」と、近世の流行芸能や獅子舞などを取り入れた華やかな「芸能六斎」の二系統が伝わっており、現在ではお盆前後に行われる夏の風物詩として親しまれています。

この伝統を後世につなぐため、各保存会による熱心な活動が行われています。

また、市内には10の「子ども六斎教室」があり、保存会から指導者を招き、高校生までの子どもたちが楽しみながら一生懸命練習に励んでいます。

動画で六斎念仏
を見てみよう! ↓



令和2年度に開催した「みなみな六斎念仏」の様子をご覧ください。



写真：中野貴広氏

上鳥羽



吉祥院



久世

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

区民の皆様には、新年を健やかに迎えのことでお慶び申し上げます。

昨年は、依然として予断を許さないコロナ禍に向き合いながらも、様々な活動の再開により、コロナ前の暮らしに戻つつある希望も感じられた一年でした。

また、年末には、「京都の六斎念仏」がユネスコ無形文化遺産に登録されるという誠に嬉しいニュースが飛び込んできました。

ここ南区でも、上鳥羽、吉祥院、久世で継承される伝統文化が“世界の宝”として認められたこと、これもひとえに、保存会の関係者をはじめ区民の皆様が伝統を守り、つないでこられた、まさに“みなみ力(地域力)”の賜物と存じます。

本年も、人と人との固い結びつきや活発な地域活動といった、南区が誇る“みなみ力”を基盤に、区民の皆様が「住んでよかった」「住み続けたい」と感じられる、笑顔があふれるまちづくりに尽力してまいります。

引き続きご協力・ご参画を賜りますようお願い申し上げます。



南区長 並川哲男